

〈第四十四回 史学会大会特別講演会記録〉

縄文時代におけるヒトと動物の関わり

〈趣旨説明〉

司会…本日の講演会は、縄文時代におけるヒトと動物の関わりをテーマに、永瀬史人先生、植月学先生のお二方をお迎えし、ご講演いただきます。

初めに、本学史学会大会係の中川さんより、本大会の全体の趣旨を簡単に説明していただきます。それでは中川さん、よろしく願います。

史学会大会係（中川）…史学会大会係の中川です。まずは簡単に、本大会の趣旨説明をさせていただきます。今年度は、「縄文時代におけるヒトと動物の関わり」をテーマに、考古学のさまざまな分野の視点から、縄文社会のあり方や当時の世界観を捉えることを目的としております。

今回は、土器型式装飾論の観点から、新潟県立歴史博物館の永瀬史人先生、そして動物考古学の観点から、帝京大学文化財研究所の植月学先生をお招きいたしました。お二人のご講演を通じて、考古学を専攻されている方はもちろん、そうでない方にとっても、多様な視点から縄文社会について考える機会となれば幸いです。以上です。